



## 感じ・考え・広げる主人公は子どもたち

主幹教諭 北村 大介

今年度、本校では「温かいコミュニケーション」を重点目標の一つとして掲げています。その一環として4月14日（月）から「あいさつキャンペーン『子どもあいさつ隊』」を開始しました。

各学級が1週間ずつ交代で参加し、児童たちが「おはようございます」と声をかけることで、元気な返事や会釈が返ってくる様子が見られています。短い時間ですが、優しい声かけを通じて「温かいコミュニケーション」が実現しています。「子どもあいさつ隊」は年間を通じて継続して取り組んでいきます。



「さるラボ（シブヤ未来科探究学習3年生以上）」では、探究に必要な基礎を身につける「きそラボ（基礎探究）」を中心に活動を進めています。学年で行う「テーマラボ（テーマ探究）」や、各自が興味あるテーマを自分のペースで調べ、制作や実験し検証を行う「マイラボ（マイ探究）」も始まりました。写真は4年生のテーマラボ「SDGs」の取組の様子です。ゲストティーチャーとしてSWiCHさんをお招きし、お話を伺ったり、TENOKA 代官山を見学したりして、地球温暖化について学びました。TENOKA 代官山を見学中には「これ何？」「どうして？」と興味を示し、また振り返りには「私たちができることは何だろう？」という問いをもった子どももいました。授業後の給食では残菜が減るなど、子どもたちの意識の変化が早速見られ、自分事として考えているようでした。



今年度は、「子ども発」も重点です。昨年度よりもさらに「子ども発」を大切にし、自分なりの問いをもち、学びを深め、最終的には自分事として考えられるよう、学習をサポートしていきます。地域や保護者の皆様にも、ラボサポーター（さるラボのゲストティーチャー）等として御協力をお願いすることがあります。どうぞよろしくお願いいたします。

5月31日（土）には「猿楽運動会 2025」が開催されます。主人公は子どもたちです。紅組のスローガンは「風林火山 勝利を掴め」、白組のスローガンは「竜の叫び 天まで響け」です。「子ども発」の運動会として、全校児童が全力で練習に取り組んでいます。表現では、子供たちが選曲や振り付けにも力を入れ、休み時間も曲を流すと自然に練習を始めます。「子ども発」で練習している子どもの顔はとてもまぶしく、全力で活躍する子どもたちの姿を地域・保護者の方々に御覧いただくことが楽しみです。当日は、温かい御声援をどうぞよろしくお願いいたします。

